

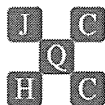
名称類似に関する ヒヤリ・ハット

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)

先頭2文字が一致する医薬品の ヒヤリ・ハット事例

処方された医薬品	主たる薬効	間違えた医薬品	主たる薬効
ユリノーム錠25mg	痛風治療剤	ユリーフカプセル4mg	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
ユリノーム錠25mg	痛風治療剤	ユリーフ錠4mg	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
ユリノーム錠50mg	痛風治療剤	ユリーフ錠2mg	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬
ユリノーム錠50mg	痛風治療剤	ユリーフ錠4mg	その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



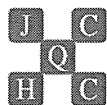
先頭2文字が一致する医薬品の ヒヤリ・ハット事例

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

ユリ	4	<p>○全て「ユリノーム」と「ユリーフ」の組み合わせであった。</p> <p>○「ユリノーム」の主たる薬効は「痛風治療剤」、「ユリーフ」は「その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬」であり、薬効が異なっていた。</p> <p>○特に「ユリーフ」は前立腺肥大症に伴う排尿障害の治療に投薬されるため、性別としては男性に処方されるはずであるが、女性に処方されたヒヤリ・ハット事例もあった。</p> <p>○ユリノームの「錠剤」とユリーフの「カプセル」を間違えた剤形間違いのパターンが1通りあった。</p>
----	---	---

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



平成22年にも報告された 医薬品の組み合わせ

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

薬効	医薬品の組み合わせ		件数
2文字のみ一致 (25件)			
同じ	マグミット錠330mg	マグラックス錠330mg	10
	ベザテートSR錠200	ベザトールSR錠200mg	4
	MS冷シップ「タイホウ」	MS温シップ「タイホウ」	2
	メパロチン錠5	メバン錠5	1
異なる	ムコダイン錠500mg	ムコスタ錠100mg	6
	クラビット錠	クラリシッド錠200mg	1
	ユリノーム錠25mg	ユリーフ錠4mg	1
3文字以上一致 (21件)			
同じ	クラリス錠200	クラリシッド錠200mg	6
	ブレドニゾン錠1mg(旭化成)	ブレドニン錠5mg	5
異なる	ノイロトロピン錠4単位	ノイロピタン配合錠	4
	スローケー錠600mg	スローフィー錠50mg	1
その他	ツムラ小青竜湯エキス顆粒(医療用)	ツムラ麦門冬湯エキス顆粒(医療用)	2
	ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用)	ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒(医療用)	2
	ツムラ抑肝散エキス顆粒(医療用)	ツムラ加味逍遙散エキス顆粒(医療用)	1

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



ユリーフとユリノームの取り違い (2011年9月の注意喚起)

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療品質評価機構

医療関係者の皆様

**ユリーフとユリノームの
販売名類似による取り違い注意のお願い**

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日頃よりご愛顧いただいております「ユリーフ錠2mg・錠4mg(一般名: シロドシン) (選択的 α_{1A} 遮断薬、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬/製造販売元: キッセイ薬品工業株式会社、販売元: 第一三共株式会社)と「ユリノーム錠25mg・錠50mg(一般名: ベンズブロマロン) (尿酸排泄薬/製造販売元: 鳥居薬品株式会社)につきましても、販売名が類似していることから取り違いに関するヒヤリ・ハット事例が報告されております。

これらの薬物を処方又は調剤いただく際には薬効及び販売名等を今一度ご確認ください。取り違いに十分ご注意くださいようお願い申し上げます。それぞれの薬剤のPTPシート等を裏面にお示しいたしますので、改めてご確認をお願いいたします。

お手数をお掛けいたしますが、今後とも引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

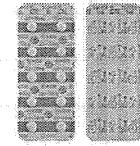
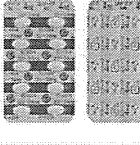
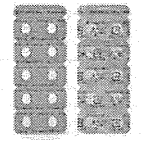
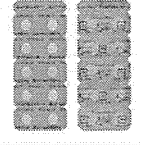
謹白

2011年9月

キッセイ薬品工業株式会社
第一三共株式会社
鳥居薬品株式会社

お問い合わせ先
キッセイ薬品工業株式会社 ぐすり相談センター TEL: 03-3279-2504 FAX: 03-3279-2504
第一三共株式会社 製品情報センター TEL: 0120-189-132(フリーダイヤル)
03-6225-7188(9時~17時)※お電話受付時間(土日祝日を除く)
FAX: 03-6225-1922
鳥居薬品株式会社 お客相談室 TEL: 03-516-634 FAX: 03-3251-6550

**ユリーフとユリノームの
販売名類似による取り違いにご注意下さい。**

<p>選択的α_{1A}遮断薬 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬</p> <p>ユリーフ錠 (一般名: シロドシン) 製薬: 処方せん医薬品 (注意: 医師等の処方せんにより使用すること。)</p> <p>効能・効果 前立腺肥大症に伴う排尿障害</p> <p>ユリーフ錠2mg</p>  <p>ユリーフ錠4mg</p>  <p>製造販売元 キッセイ薬品工業株式会社</p>	<p>尿酸排泄薬</p> <p>ユリノーム錠 (一般名: ベンズブロマロン) 製薬: 処方せん医薬品 (注意: 医師等の処方せんにより使用すること。)</p> <p>効能・効果 下記の場合における高尿酸血症の改善 痛風、高尿酸血症に伴う高血圧症</p> <p>ユリノーム錠25mg</p>  <p>ユリノーム錠50mg</p>  <p>製造販売元 鳥居薬品株式会社</p>
---	---

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



ユリーフとユリノームの取り違い (2011年9月の注意喚起)

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療品質評価機構

さて、日頃よりご愛顧いただいております「ユリーフ錠2mg・錠4mg(一般名: シロドシン) (選択的 α_{1A} 遮断薬、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬/製造販売元: キッセイ薬品工業株式会社、販売元: 第一三共株式会社)と「ユリノーム錠25mg・錠50mg(一般名: ベンズブロマロン) (尿酸排泄薬/製造販売元: 鳥居薬品株式会社)につきましても、販売名が類似していることから取り違いに関するヒヤリ・ハット事例が報告されております。



漢方製剤のうち頭文字が3文字以上一致しているもの

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機器評価機構

処方された医薬品	製品番号	間違えた医薬品	製品番号	備考
ツムラ葛根湯エキス顆粒(医療用)	1	ツムラ補中益気湯エキス顆粒(医療用)	41	同色
ツムラ葛根湯エキス顆粒(医療用)	1	ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒(医療用)	68	
ツムラ八味地黄丸エキス顆粒(医療用)	7	ツムラ五苓散エキス顆粒(医療用)	17	同色
ツムラ小柴胡湯エキス顆粒(医療用)	9	ツムラ苓甘姜味辛夏仁湯エキス顆粒(医療用)	9	同色
ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒(医療用)	12	ツムラ柴胡桂枝乾姜湯エキス顆粒(医療用)	11	
ツムラ半夏瀉心湯エキス顆粒(医療用)	14	ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用)	16	
ツムラ黄连解毒湯エキス顆粒(医療用)	15	ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒(医療用)	25	同色
ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用)	16	ツムラ半夏瀉心湯エキス顆粒(医療用)	14	
テイコク半夏厚朴湯エキス顆粒	16	テイコク半夏瀉心湯エキス顆粒	14	-
ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用)	16	ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒(医療用)	107	
ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用)	16	ツムラ茯苓飲合半夏厚朴湯エキス顆粒(医療用)	6	同色

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



販売名が類似し、製品番号や帯の色が同じ漢方製剤の組み合わせ

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機器評価機構

1

左: ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒(医療用)
右: ツムラ当帰建中湯エキス顆粒(医療用)

2

左: ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用)
右: ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒(医療用)

3

左: ツムラ柴胡桂枝湯エキス顆粒(医療用)
右: ツムラ柴胡清肝湯エキス顆粒(医療用)

4

左: ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒(医療用)
右: ツムラ桂枝茯苓丸加減苳仁エキス顆粒(医療用)

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)

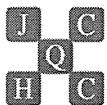


製品番号や帯の色が同じ漢方製剤に関する事例

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

販売名〈製品番号〉	事例の内容等
【事例1】	
<p>○処方された医薬品 ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒(医療用) 〈製品番号: 23〉</p> <p>○間違えた医薬品 ツムラ当帰建中湯エキス顆粒(医療用) 〈製品番号: 123〉</p>	<p>【事例の内容】 ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒(医療用)(製品番号23)のところ、ツムラ当帰建中湯エキス顆粒(医療用)(製品番号123)で調剤した。患者が薬を服用した際に誤りに気付いた。</p> <p>【背景・要因】 ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒(医療用)の薬の箱にツムラ当帰建中湯エキス顆粒(医療用)が混入していた。 以前に調剤した際、薬を箱に戻し間違えた。調剤時に当該薬がそれぞれ販売名が「当帰」、および包装が「黄緑の帯」であったため、思い込みをしてみました。</p>

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



薬局ヒヤリ・ハット分析表 (再び報告があった名称類似医薬品)

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

薬局ヒヤリ・ハット分析表 No.1

再び報告があった名称類似医薬品

ヒヤリ・ハット事例のうち、事例の内容が「医薬品混入」であった事例が1、272件報告されています。(集計期間: 2010年1月1日~2010年12月31日)
このうち、取違えを原因の異なる名称文字が2文字同じであった事例が0.92件の中で、平成21年の当該発表を同じ報告された医薬品が組み合わせて14通り(4.9件)報告されています。

医薬品の組み合わせ	
【2文字が一致しているもの】(25件)	【2文字が一致しているもの】(21件)
○薬効が同じもの	○薬効が異なるもの
マグミット錠330mg ベザトールS R錠200 MS冷シップ「タイボウ」 メパロチン錠5	ムコスタ錠100mg ムコスタ錠330mg マグラックス錠330mg ベザトールS R錠200mg MS温シップ「タイボウ」 メパロチン錠5
○薬効が異なるもの	○薬効が異なるもの
ムコスタ錠500mg 薬効: 呼吸器用薬、去たん剤/ステロイド系製剤	ムコスタ錠100mg 薬効: 消化器用薬、消化性潰瘍用剤、その他の消化性潰瘍用剤
クラビット錠 薬効: 化学療法剤、合成抗がん剤、ピロリ菌除菌薬、マイコプラズマに作用するもの、その他(主にとしてクララム類似性、マイコプラズマに作用するもの)	クラリスリッド錠200mg 薬効: 抗生物質製剤、主としてクララム類似性、マイコプラズマに作用するもの
コリノーム錠25mg 薬効: その他の代謝性医薬品、降圧薬/利尿薬、その他(降圧薬/利尿薬、降圧薬)	コリノーム錠4mg 薬効: 泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬、その他(泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬)
【3文字以上一致しているもの】(21件)	【3文字以上一致しているもの】(21件)
○薬効が同じもの	○薬効が異なるもの
クラリス錠200 プレドニゾン錠1mg(塩化)	クラリスリッド錠200mg プレドニゾン錠5mg
○薬効が異なるもの	○薬効が異なるもの
ノイロトロピン錠4単位 薬効: 中枢神経系用薬、解熱鎮痛剤/消炎薬、その他の解熱鎮痛剤/消炎薬	ノイロビタン配合錠 薬効: ビタミン剤、混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く)、その他の混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く)
スローケー錠600mg 薬効: 泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬、その他(降圧薬/利尿薬、降圧薬)	スローケー錠600mg 薬効: 泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬、その他(降圧薬/利尿薬、降圧薬)
○その他の(漢方製剤)	○その他の(漢方製剤)
ツムラ小青竜湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ加味逍遥散エキス顆粒(医療用)	ツムラ麦門冬湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ加味逍遥散エキス顆粒(医療用)

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業
〒100-0001 東京都千代田区正統1-4-17 東京ヒヤリ・ハットセンター
電話: 03-5717-0261(直通) FAX: 03-5717-0253(直通)
http://www.jcqhc.jp/hyari/

医薬品の組み合わせ	
【2文字が一致しているもの】(25件)	【2文字が一致しているもの】(21件)
○薬効が同じもの	○薬効が異なるもの
マグミット錠330mg ベザトールS R錠200 MS冷シップ「タイボウ」 メパロチン錠5	ムコスタ錠100mg ムコスタ錠330mg マグラックス錠330mg ベザトールS R錠200mg MS温シップ「タイボウ」 メパロチン錠5
○薬効が異なるもの	○薬効が異なるもの
ムコスタ錠500mg 薬効: 呼吸器用薬、去たん剤/ステロイド系製剤	ムコスタ錠100mg 薬効: 消化器用薬、消化性潰瘍用剤、その他の消化性潰瘍用剤
クラビット錠 薬効: 化学療法剤、合成抗がん剤、ピロリ菌除菌薬、マイコプラズマに作用するもの、その他(主にとしてクララム類似性、マイコプラズマに作用するもの)	クラリスリッド錠200mg 薬効: 抗生物質製剤、主としてクララム類似性、マイコプラズマに作用するもの
コリノーム錠25mg 薬効: その他の代謝性医薬品、降圧薬/利尿薬、その他(降圧薬/利尿薬、降圧薬)	コリノーム錠4mg 薬効: 泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬、その他(泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬)
【3文字以上一致しているもの】(21件)	【3文字以上一致しているもの】(21件)
○薬効が同じもの	○薬効が異なるもの
クラリス錠200 プレドニゾン錠1mg(塩化)	クラリスリッド錠200mg プレドニゾン錠5mg
○薬効が異なるもの	○薬効が異なるもの
ノイロトロピン錠4単位 薬効: 中枢神経系用薬、解熱鎮痛剤/消炎薬、その他の解熱鎮痛剤/消炎薬	ノイロビタン配合錠 薬効: ビタミン剤、混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く)、その他の混合ビタミン剤(ビタミンA・D混合製剤を除く)
スローケー錠600mg 薬効: 泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬、その他(降圧薬/利尿薬、降圧薬)	スローケー錠600mg 薬効: 泌尿生殖器用薬、降圧薬/利尿薬、その他(降圧薬/利尿薬、降圧薬)
○その他の(漢方製剤)	○その他の(漢方製剤)
ツムラ小青竜湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ加味逍遥散エキス顆粒(医療用)	ツムラ麦門冬湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ麻黄湯エキス顆粒(医療用) ツムラ加味逍遥散エキス顆粒(医療用)

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「平成23年総集」P79図表1-7を改定

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



事例の検索機能

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

財団法人 日本医療機能評価機構 Japan Council for Quality Health Care

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

はじめに | 公開データ検索 | 共有すべき事例 | 薬局ヒヤリ・ハット分析表 | 薬局の方 | 利用ガイド | 参加登録 | 事例報告ログイン

ホーム | 報告書類・年報 | 参加登録薬局一覧 | 代表者挨拶 | 事業概要 | 関連文書 | ENGLISH

公開データ検索

一般の方 | 薬局の方

お知らせ

- 2011.02.18NEW 「共有すべき事例」2010年9月を公開致しました。
- 2011.02.18NEW 「共有すべき事例」2010年8月を公開致しました。

事例報告ログイン

薬局に関するヒヤリ・ハットの報告はこちらから。

関連文書

利用ガイド | 参加登録

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



事例の検索機能

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

財団法人 日本医療機能評価機構 Japan Council for Quality Health Care

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

■ 薬局ヒヤリ・ハット報告事例検索

■ 事例内容で検索 所収項目はAHD検索も可能です。非対応の項目は空白検索可能。発生年月が未入力の場合は、発生年月の範囲検索の処理となります。

発生年月: 2009年4月~2011年12月

事例の概要/事例概要の内容

調剤 処方照会 特定保険医療材料 医薬品の販売

発生場面: 調剤 | 事例の内容: 調剤忘れ | 処方せん指示間違い

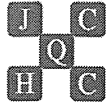
検索語: ワーファリン

表示件数: 10 | 検索: 98件

検索結果 (98事例)

選択	発症番号	発生年月	事例の概要	事例の内容	表示
<input type="checkbox"/>	00000000116	2009/06	調剤	調剤する際は、患者ごとに別々のトレイにされているか、調剤の区別	表示
<input type="checkbox"/>	00000000170	2009/06	調剤	(正)ワルファリンカリウム錠1mg(HD)とすべきところを(誤)	表示
<input type="checkbox"/>	00000000200	2009/07	調剤	ワーファリン25錠×30日分で75錠を渡すだけ、けいれん	表示
<input type="checkbox"/>	00000000240	2009/06	調剤	ワルファリン1.0のところ「ワ」から勘違いして、ワー	表示
<input type="checkbox"/>	00000000385	2009/07	調剤	ワーファリン1mg 0.5錠 14包を28包で調剤した。	表示
<input type="checkbox"/>	00000000450	2009/07	調剤	0.75錠を0.5錠の予製分包と取り違えた。	表示
<input type="checkbox"/>	00000000585	2009/09	調剤	ワーファリン1mgとワーファリン0.5mgを分包で分包していた。	表示
<input type="checkbox"/>	00000000588	2009/07	調剤	ワーファリン錠0.5mgのところ、ワルファリンカリウム錠0.5m...	表示
<input type="checkbox"/>	00000000640	2009/06	調剤	ワーファリン1mg0.5錠からワーファリン0.5mg1.6錠へ	表示
<input type="checkbox"/>	00000000674	2009/09	調剤	e6錠を28錠と間違えた。	表示

XML出力 | PDF出力



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

重要事例の情報提供 （共有すべき事例）

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

財団法人 日本医療機能評価機構 Japan Council for Quality Health Care

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

はじめに | 公開データベース | **共有すべき事例** | 薬局ヒヤリ・ハット分析表 | 薬局の方 | 利用ガイド | 参加登録 | 事例報告ログイン

ホーム | 報告書類・年報 | 参加登録一覧 | 代表者挨拶 | 事業概要 | 関連文書 | ENGLISH

共有すべき事例

お知らせ

- 2011.02.18NEW
「共有すべき事例」2010年9月を公開致しました。
- 2011.02.18NEW
「共有すべき事例」2010年8月を公開致しました。

事例報告ログイン

関連文書

利用ガイド | 参加登録

Japan Council for Quality Health Care (JCQC)



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

重要事例の情報提供 （共有すべき事例）

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

財団法人 日本医療機能評価機構 Japan Council for Quality Health Care

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

はじめに | 公開データベース | 共有すべき事例 | 薬局ヒヤリ・ハット分析表 | 薬局の方 | 利用ガイド | 参加登録 | 事例報告ログイン

ホーム | 報告書類・年報 | 参加登録一覧 | 代表者挨拶 | 事業概要 | 関連文書 | ENGLISH

共有すべき事例

2010年 9月 (2件)

事例1 内服薬調剤・規格・剤形間違いに関する事例（事例番号：00000001.0204）

事例の内容
処方せんにはブレドニン錠5mgO、5錠と記載されていた。ジェネリック医薬品を希望する患者であったため、ブレドニン錠5mgO、6錠で調剤しなければいけないところ、ブレドニン錠2.5mgO、6錠で調剤してしまった。投薬の際、別の薬剤師がシート包装の外装で間違いに気づいた。

背景・要因
処方せんには10種類の処方箋があり、ジェネリック医薬品へ変更可能なものはすべて変更して欲しとの希望があった。そのうち7つの医薬品が変更可能であったため、先発医薬品からジェネリック医薬品へ変更することに手探りしてしまった。その際、ブレドニン錠5mgO、6錠は2.5mgでないと考えず、ブレドニン錠2.5mgを調剤してしまった。先発医薬品からジェネリック医薬品へ変更する際は調剤の中で確認しなければならず、さらに規格変更も可能となったため、規格(mg数)を変更することもあった。これらは通常ではきちんと出ていても、繁忙が中に心理的、身体的要因などが重なってしまふとそれがミスの原因となることもあった。

薬局が考えた改善策
当薬局では一包装調剤や分包装の場合、かならずシートの外装などを確認しており、投薬時に使用していた。今回よこの検査で気づくことが出来たため、このことは今後も徹底する。

その他の情報
特記事項なし

事例のポイント
●先発医薬品が後発医薬品に変更する場合、処方せんに記載されている先発医薬品の情報を調剤対象の値

- 事例の内容
- 背景・要因
- 改善策
- その他の情報
- 事例のポイント
(総合評価部会委員の指摘)

Japan Council for Quality Health Care (JCQC)



重要事例の情報提供 (共有すべき事例)

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

2010年9月 事例1

外用薬調剤、調剤忘れに関する事例
(事例番号: 000000010282)

事例

【事例の概要】
モーステープ20mgを調剤し忘れた。
【背景・要因】
調剤の途中に発生したプリンターの不具合に対応したため、調剤を中断してしまっ。薬剤に貼るシールは準備していたが、薬剤そのものを取り忘れてしまった。
【原因の究明と改善策】
調剤中断した後は遵守時刻に入念に確認するように心がける。

事例のポイント

● 調剤を中断したことによるミスであり、これまでも何度も報告されている事例である。調剤を再開する時は、戻りから再開するのではなく、最初からやり直す必要がある。

財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-8381 東京都千代田区千代田1-4-17 東2425
電話: 03-5217-4269(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.yakkyoku-hyari-hatto.jp/

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

2010年9月 事例2

内服薬調剤、規格・剤形間違いに関する事例
(事例番号: 000000010321)

事例

【事例の概要】
処方箋にはブドニド錠5mg 0.5錠と記載されていた。ジェネリック医薬品を調剤する意図であったため、ブドニド錠5mg 0.5錠で調剤し忘れがなかったところ、ブドニド錠2.5mg 0.5錠で調剤してしまっ。調剤の報、別の薬剤師がシートを誤の外袋で封入していた。
【背景・要因】
処方箋には10種類の処方箋があり、ジェネリック医薬品へ変更可能なものはすべて変更して新しいと希望があった。そのうち7つの医薬品が変更可能であったため、先調剤品からジェネリック医薬品へ変更することに判断してしまっ。その際、ブドニド錠5mg 0.5錠は2.5mgであると思っし、ブドニド錠2.5mgを調剤してしまっ。再調剤品からジェネリック医薬品へ変更する時は袋の中で変更しない仕組みがあり、さらに封筒も変更しなかったため、誤薬1mgを封入することになった。これら経緯ではミスと見えても、驚愕な時に理解が、発生の原因などが変わってしまうとそれが大きな原因となることもあった。
【薬剤師からの教訓】
調剤時により詳細な確認を付した場合は、処方箋シートの外袋などを確認し、記載時に使用していた。尚ほこの薬袋で封入することが出来たため、このことは今後も継続する。

事例のポイント

● 先調剤品を後調剤品に変更する場合、処方箋に記載されている先調剤品の調剤対象の最終医薬品の情報に書き換える必要があり、調剤時の作業工程が増えたことによりエラーが発生しやすくなった事例である。当該薬剤ではシートの外袋を持つことで、薬剤師に処方箋の情報と調剤後の情報のチェックを促める工夫をしており、このことはエッセー領域に有効である。

財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-8381 東京都千代田区千代田1-4-17 東2425
電話: 03-5217-4269(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
http://www.yakkyoku-hyari-hatto.jp/

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



薬局ヒヤリ・ハット分析表

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

財団法人 日本医療機能評価機構 Japan Council for Quality Health Care

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

はじめに | 公開データ検索 | 共有すべき事例 | **薬局ヒヤリ・ハット分析表** | 薬局の方 | 利用ガイド | 参加登録 | 事例報告ログイン

ホーム | 報告書類・年報 | 参加登録薬局一覧 | 代表者挨拶 | 事業概要 | 関連文書 | ENGLISH

一般の方 | ぐいめに | 事業案内(POP)

公開データ検索

報告書類・年報

参加登録薬局一覧

ENGLISH

代表者挨拶 | 事業概要

通知らせ

2011.02.18 NEW
● 「共有すべき事例」2010年9月を公開致しました。

2011.02.18 NEW
● 「共有すべき事例」2010年8月を公開致しました。

薬局の方

事例報告ログイン

薬局に関するヒヤリ・ハットの報告はこちらから。

関連文書

利用ガイド | 参加登録

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)

薬局ヒヤリ・ハット分析表

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

ホーム 報告書類・年報 参加登録薬局一覧 代表者挨拶 事業概要 関連文書 ENGLISH

薬局ヒヤリ・ハット分析表

最新の薬局ヒヤリ・ハット分析表

- No.1 名称類似による薬剤間違え (PDF形式)
- No.2 薬局ヒヤリハット事例として報告されたハリスケ案 (PDF形式)
- No.3 疑義照会における変更内容と疑義があると判断した理由 (PDF形式)
- No.4 薬局ヒヤリハット事例として報告されたワルファンカリウムに関する事例 (PDF形式)
- No.5 薬局ヒヤリハット事例として報告されたインスリン製剤に関する事例 (PDF形式)

過去の薬局ヒヤリ・ハット分析表

平成21年年報

- No.1 名称類似による薬剤間違え (PDF形式)
- No.2 薬局ヒヤリハット事例として報告されたハリスケ案 (PDF形式)
- No.3 疑義照会における変更内容と疑義があると判断した理由 (PDF形式)
- No.4 薬局ヒヤリハット事例として報告されたワルファンカリウムに関する事例 (PDF形式)
- No.5 薬局ヒヤリハット事例として報告されたインスリン製剤に関する事例 (PDF形式)

財団法人 日本医療機能評価機構 JPへ

年報中に掲載した重要な図表から作成した分析表

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)

抗悪性腫瘍薬の処方に疑義があると判断した理由

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

薬局ヒヤリ・ハット分析表 No.6

抗悪性腫瘍剤の処方に疑義があると判断した理由

ヒヤリ・ハット事例のうち、抗悪性腫瘍薬に関する事例が4件報告されています。
（※追記：2010年3月1日～2010年12月31日）
そのうち、「疑義照会」の割合は下記の通りです。

抗悪性腫瘍剤に関する事例

疑義照会	10	13.5%
医薬品の販売	0	0.0%
調剤	64	86.5%

「疑義照会」の事例10件について、「疑義があると判断した理由」は下表のとおりです。そのうち、処方せん本人の情報を照会して判断した事例（オレンジ色の部分）については、「疑義があると判断する契機となった情報」を併せて示しました（下記表）。

疑義があると判断した理由	件数	疑義があると判断する契機となった情報	件数 [※]
当該処方せんのみで判断	1	休業期間における処方	3
当該処方せんと薬局で管理している情報で判断	7	前回処方と今回処方の方量の相違	3
		前回処方と今回処方の方量の相違	2
		他薬局が発行した薬剤情報提供文書の内容	1
上記以外で判断	2	患者による薬剤の誤りの指摘	1
計	10		

※「前回の処方と今回処方の方量の相違」と「他薬局が発行した薬剤情報提供文書」の両方に該当する1事例は、その両方に該当しているため、両側の合計は事例数「4件」との異なる。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業（問合せ先）〒104-0061 東京都千代田区千代田1-1-6、119-8501-1-1-6
 〒104-0061 東京都千代田区千代田1-1-6、119-8501-1-1-6
 電話：03-5277-6000（直通） FAX：03-5277-6000（直通）
<http://www.wakkyokusha.jp/jcqh/>

公益財団法人 日本医療機能評価機構
薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業
〒104-0061 東京都千代田区千代田1-1-6 東洋ビル
電話：03-5277-6000（直通） F A X：03-5277-6000（直通）
<http://www.wakkyokusha.jp/jcqh/>

抗悪性腫瘍剤に関する事例 (参考) ヒヤリ・ハット事例

疑義照会	10	13.5%
医薬品の販売	0	0.0%
調剤	64	86.5%

疑義照会	656	5.1%
医薬品の販売	3	0.0%
調剤	12,222	94.9%

疑義があると判断した理由	件数	疑義があると判断する契機となった情報	件数 [※]
当該処方せんのみで判断	1	休業期間における処方	3
当該処方せんと薬局で管理している情報で判断	7	前回処方と今回処方の方量の相違	3
		前回処方と今回処方の方量の相違	2
		他薬局が発行した薬剤情報提供文書の内容	1
上記以外で判断	2	患者による薬剤の誤りの指摘	1
計	10		

Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)



医療事故情報収集等事業との連携

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機材評価機構



医療機関-薬局 連携のページ

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機材評価機構

1. はじめに

医療事故防止事業部では、平成20年度に開始した薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業のほか、平成16年より医療事故防止と医療安全の推進を目的とした医療事故情報収集等事業を運営しています。この事業では、病院内で発生した医療事故情報やヒヤリ・ハット事例を収集、分析、提供しており、報告された情報の中には、発生場面が「処方・与薬」、「調剤・製剤管理」など、薬局業務に関連する場面も多く報告されています。

また、報告されたヒヤリ・ハット事例のうち、薬剤に関するものが約3割を占めており、このような情報は医療機関だけでなく、薬局においても有用な情報であり、その内容をホームページに掲載しております。そこで、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の報告書等と併せて活用していただき、薬局における医療事故防止に取り組んでいただければ幸いです。

2. 医療事故情報収集等事業とは

医療法施行規則に基づく医療事故情報収集事業は、医療機関から報告された医療事故情報等を、収集、分析、提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策に一層の推進を図ることを目的としている事業です。

医療事故情報収集等事業は、以下の3つから構成されています。

- 1) 医療事故情報収集・分析・提供事業
2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業
3) 医療安全情報提供事業

2) 医療安全情報

医療事故の発生予防、再発防止の促進することを目的として、特に周知すべき情報を「医療安全情報」として提供しています。

医療安全情報の中には薬剤に関する内容も多く取り上げられており、医療機関だけでなく、薬局においても有用な情報が掲載されています。医療安全情報に掲載されている情報のうち、特に薬剤に関するものを以下に掲載しますので、是非ご利用下さい。

2011年	
No.51 『アルファリウム』の内服状況や錠剤包装の把握不足』 (PDF形式)	📄
2010年	
No.45 『処方ワザナドール(オトトレキマール)の過剰投与に伴う骨髄抑制(第2報)』 (PDF形式)	📄
No.41 『処方箋の情報の違いによる薬剤量間違い(第2報)』 (PDF形式)	📄
No.39 『特効薬の不十分な確認』 (PDF形式)	📄
No.38 『清濁野における注射器に準備された薬剤の取り入れ』 (PDF形式)	📄

医療安全情報

医療機関—薬局 連携のページ

薬局ヒヤリ・ハット事例
収集・分析事業
公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報のうち、 薬剤に関する情報を掲載

2) 医療安全情報

医療事故の発生予防、再発防止の促進する
情報として提供しています。

医療安全情報の中には薬剤に関する内容も多く取り上げられており、医療機関だけではなく、薬局においても有用な情報が掲載されています。医療安全情報に掲載されている情報のうち、特に薬剤に関するものを以下に掲載しますので、是非ご利用下さい。

2011年

No.51:[ワルファリンカリウムの内服状況や凝固機能の把握不足] (PDF形式)



2010年

No.45:[抗リウマチ剤(メトトレキサート)の過剰投与に伴う骨髄抑制(第2報)] (PDF形式)



No.41:[処方表記の解釈の違いによる薬剤量間違い(第2報)] (PDF形式)



No.39:[持参薬の不十分な確認] (PDF形式)



No.38:[清潔野における注射器に準備された薬剤の取り違い] (PDF形式)



メトトレキサートの過剰投与の事例

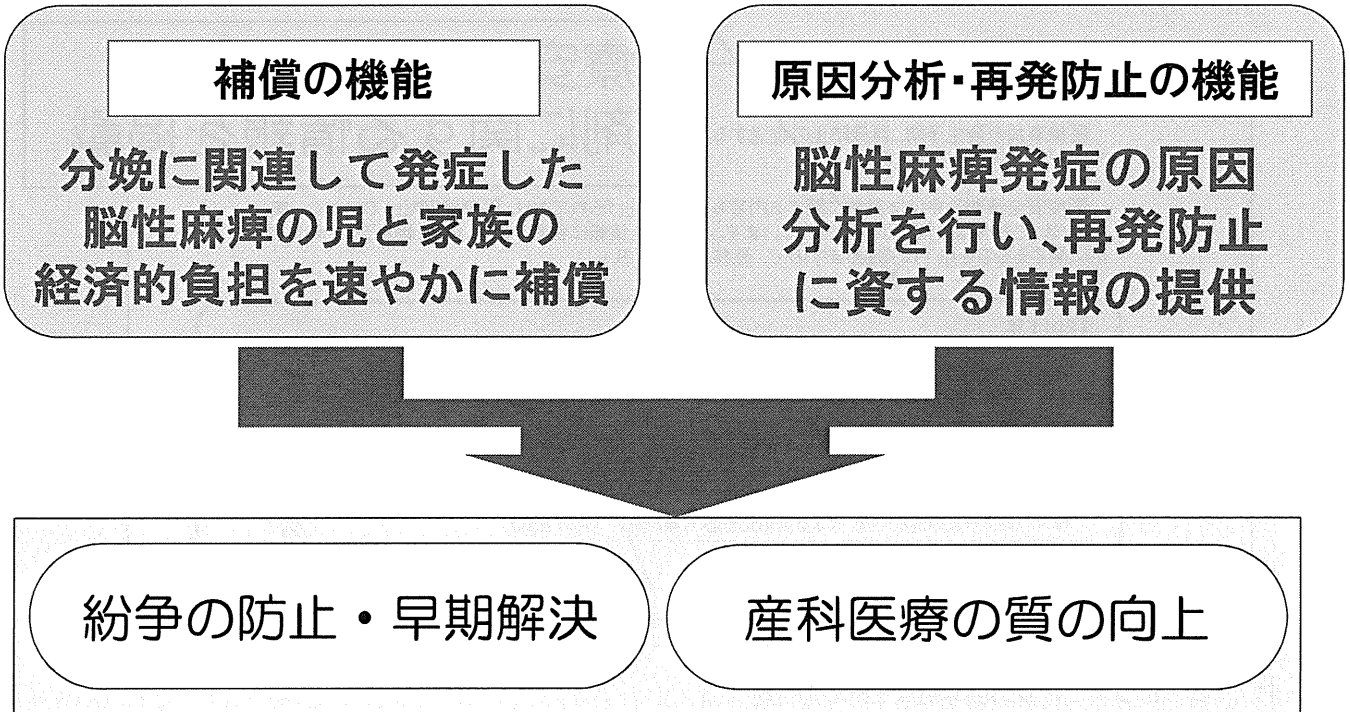
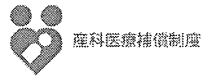
Japan Council for Quality Health Care (JCQHC)

内 容

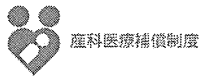
- ◆ 医療事故情報収集等事業について
- ◆ 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業
について
- ◆ 産科医療の補償制度について



基本的な考え方



制度加入状況



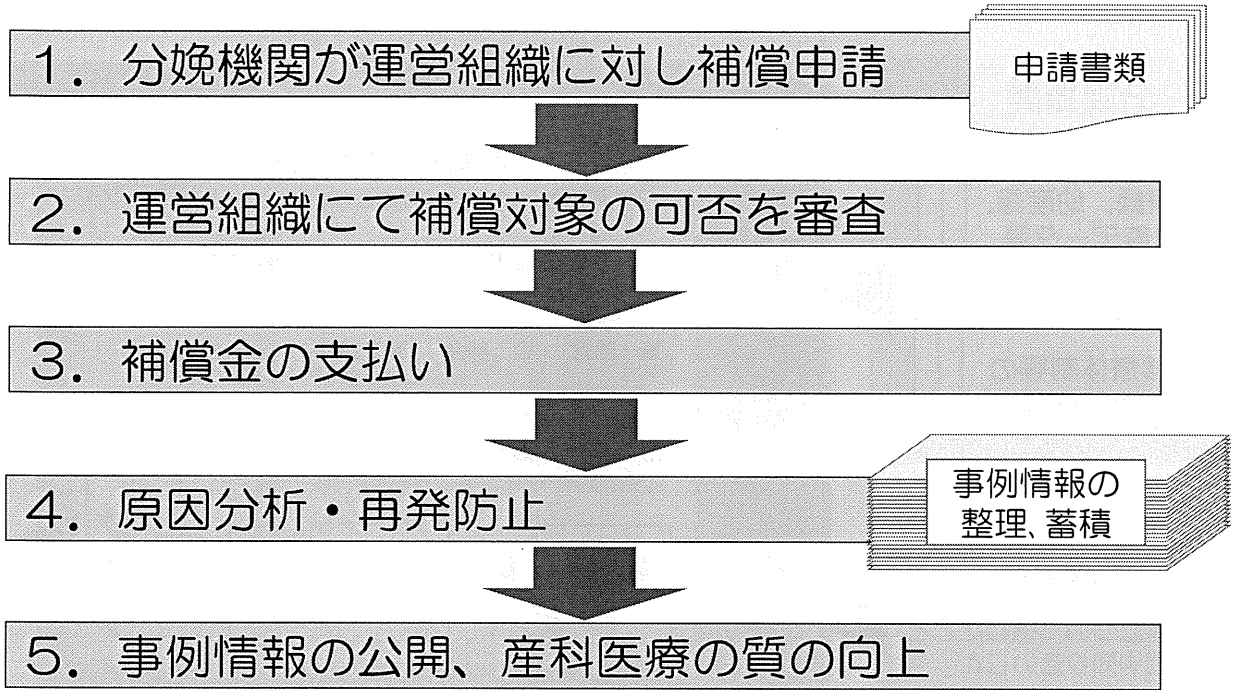
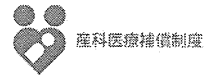
(平成23年11月1日現在)

	分娩機関数	加入分娩機関数	加入率(%)
病院	1,200	1,200	100.0
診療所	1,699	1,692	99.6
助産所	441	440	99.8
合計	3,340	3,332	99.8

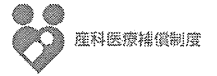
未加入機関：診療所7機関、助産所1機関



審査・原因分析・再発防止



審査の実績



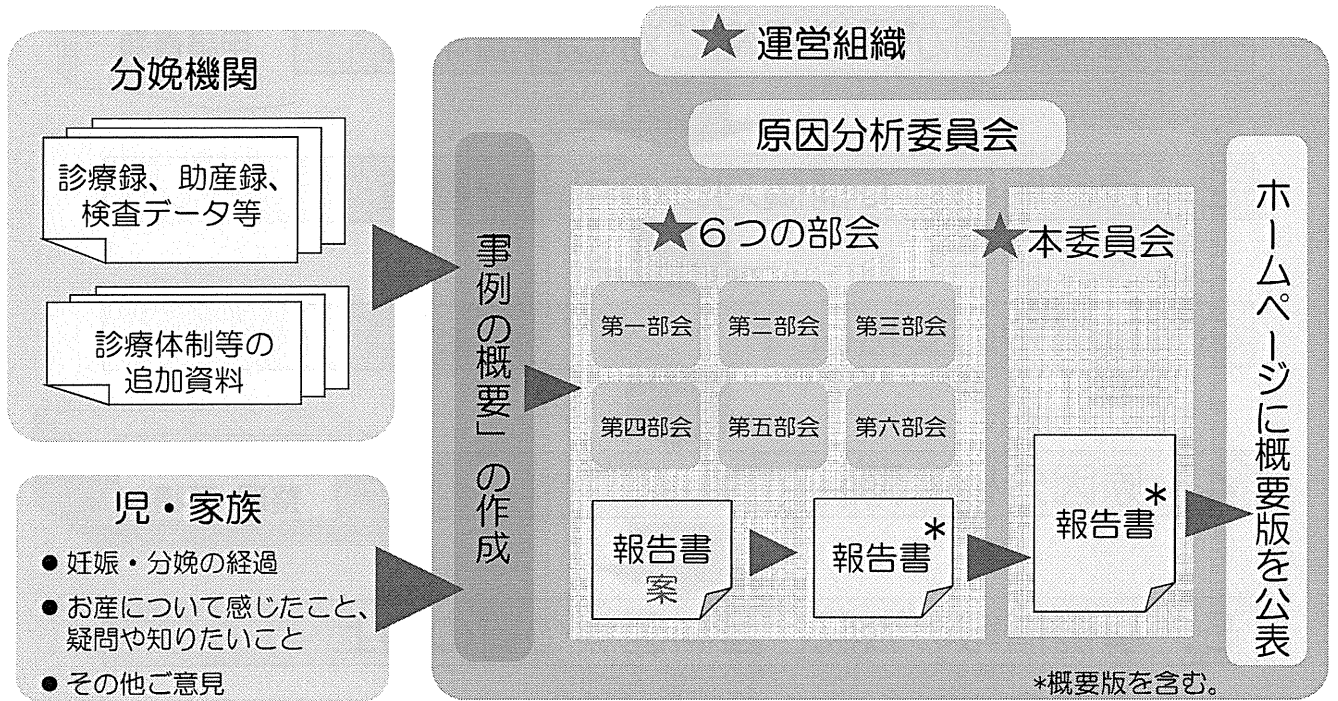
(平成23年11月審査分まで)

児の生年	補償対象基準	審査件数	補償対象	補償対象外		継続審議
				補償対象外	再申請可能	
H21	2000g以上かつ33週	155	145	4	5	1
	28週以上かつ所定の要件	18	12	6	0	0
	合計	173	157	10	5	1
H22	2000g以上かつ33週	84	82	0	1	1
	28週以上かつ所定の要件	7	7	0	0	0
	合計	91	89	0	1	1
H22	2000g以上かつ33週	1	1	0	0	0
	28週以上かつ所定の要件	0	0	0	0	0
	合計	1	1	0	0	0
総計		265	247	10	6	2

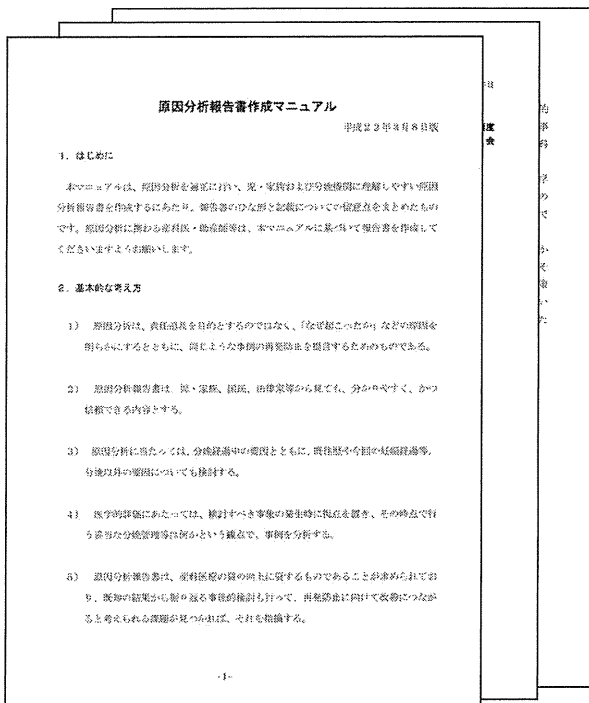
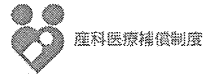
※異議審査の件数を含む。



原因分析の流れ (全体)



原因分析報告書マニュアル



- 基本的な考え方
- 報告書の構成
- 医学的評価に使用する用語
- 家族からの疑問・質問に対する回答などをまとめたもの

報告書の構成

1. はじめに (産科医療補償制度 原因分析委員会原因分析マニュアルより)
2. 事例の概要
- | | |
|-----------------|--------------|
| 1) 妊産婦等に関する基本情報 | 2) 今回の妊娠経過 |
| 3) 分娩のための入院時の状況 | 4) 分娩経過 |
| 5) 新生児期の経過 | 6) 産褥期の経過 |
| 7) 診療体制等に関する情報 | 8) 児・家族からの情報 |
3. 脳性麻痺発症の原因
4. 臨床経過に関する医学的評価
5. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項
6. 関連資料

原因分析の考え方(1)

(産科医療補償制度 原因分析委員会原因分析マニュアルより)

- 原因分析は、責任追及を目的とするのではなく、「なぜ起こったか」などの原因を明らかにするとともに、同じような事例の再発防止を提言するためのものである。
- 原因分析報告書は、児・家族、国民、法律家等から見ても、分かりやすく、かつ信頼できる内容とする。

原因分析の考え方(2)

(産科医療補償制度 原因分析委員会原因分析マニュアルより)

3. 原因分析にあたっては、分娩経過中の要因とともに、既往歴や今回の妊娠経過等、分娩以外の要因についても検討する。
4. 医学的評価にあたっては、検討すべき事象の発生時に視点を置き、その時点で行う妥当な分娩管理等は何かという観点で、事例を分析する。(プロスペクティブな分析)

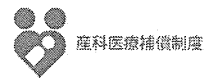
原因分析の考え方(3)

(産科医療補償制度 原因分析委員会原因分析マニュアルより)

5. 原因分析報告書は、産科医療の質の向上に資するものであることが求められており、既知の結果から振り返る事後的検討も行って、再発防止に向けて改善につながると考えられる課題が見つかれば、それを指摘する。(レトロスペクティブな分析)



医学的評価に用いる表現



医療水準	表現・語句
高い 低い	・優れている
	・適確である
	・医学的妥当性がある
	・基準内である
	・一般的である
	・選択肢のひとつである
	・選択肢としてありうる
	・医学的妥当性は不明である(エビデンスがない)
	・医学的妥当性には賛否両論がある
	・選択されることは少ない
	・一般的ではない
	・基準から逸脱している
	・医学的妥当性がない
	・劣っている
	・誤っている

(産科医療補償制度 原因分析報告書作成マニュアル平成22年2月9日版より抜粋)

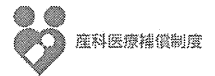
➤ 報告書の表現のばらつきをなくすためにマニュアル内に例示。

例)

- ・優れている
- ・一般的である
- ・基準から逸脱している
- ・劣っている

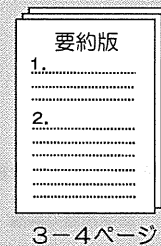


原因分析報告書の公表



■ 要約版

ホームページに公表



3-4ページ

■ 全文版 (マスキング済)

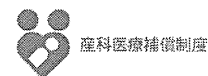
手続きを経て申請者の開示



20-30ページ



原因分析報告書の公表（要約版）



産科医療補償制度 文字サイズ 小 中 大

このマークは 産科医療補償制度の シンボルマークです

ホームページの「制度概要」の中に掲載しています。

産科医療補償制度原因分析報告書
医学用語の解説

財団法人日本医療機能評価機構
産科医療補償制度原因分析委員会
平成22年4月版

- ホーム
- 代表者挨拶
- 制度概要
 - 概要
 - 補償の機能
 - 補償の態勢の概要
 - 補償申請の手続き<分娩機関>
 - 補償申請の総量<補償請求者>
 - 補償金額の手続き<補償請求者>
 - Q&A
 - 原因分析の概要
 - 原因分析報告書<要約版>
 - 開封のお願い
 - Q&A
- 創設経緯

概要

産科医療補償制度創設の目的

産科医療補償制度は、分娩に関連してと脳性麻痺の原因分析・再発防止の観点から、分娩機関が本制度に未加入だったことを受け、補償を受けることができないという事態に備え、全ての分娩機関が「産科医療補償制度」に加入することを目的として創設されました。

目的1

分娩に関連して発症した重度脳性麻痺の原因分析を行い、再発防止を図ります。

原因分析報告書（要約版）

1. 事例の概要

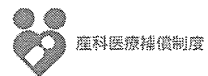
2. 脳性麻痺発症の経緯

3. 脳性麻痺に関する医学的解説

ホームページの「制度概要」の中に掲載しています。



わかりやすい報告書のために「医学用語の解説」



産科医療補償制度原因分析報告書
医学用語の解説

財団法人日本医療機能評価機構
産科医療補償制度原因分析委員会
平成22年4月版

＜あ＞

アシドーシス
血液の酸性、アルカリ性を調節する力が弱まった結果、血液が酸性側にかたよってしまっている状態です。酸血症ともいいます。

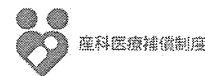
アプガースコア
生まれた時の赤ちゃんの状態を見て①心拍数、②泣き声の強さ、③手足の動きの活発さ、④反応の良さ、⑤皮膚の色の5項目で、0～2点で点数をつけて、元気かどうかを判断します。生まれて1分後、5分後に測り、10点で満点です。5分後のスコアが7点以上あれば、赤ちゃんは元気といえます。

ご家族には「医学用語の解説」を同封して送っています。



公益財団法人 日本産科医療補償制度
Japan (JQCO) For Quality Improvement in Obstetrics and Gynecology

原因分析の実績



産科医療補償制度

	審議件数	審議結果			
		承認	条件付承認	再審議	保留
計	89件	36件※1	52件※2	1件	0件

※1 再審議分として審議を行った9件を含む

※2 再審議分として審議を行った1件を含む

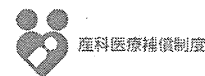
【審議結果区分】

■承認	修正なしまたは修正内容が確定した報告書
■条件付き承認	修正なしまたは修正内容が確定した報告書
■再審議	部会において修正後、再度審議をする必要がある報告書
■保留	審議未了となった報告書

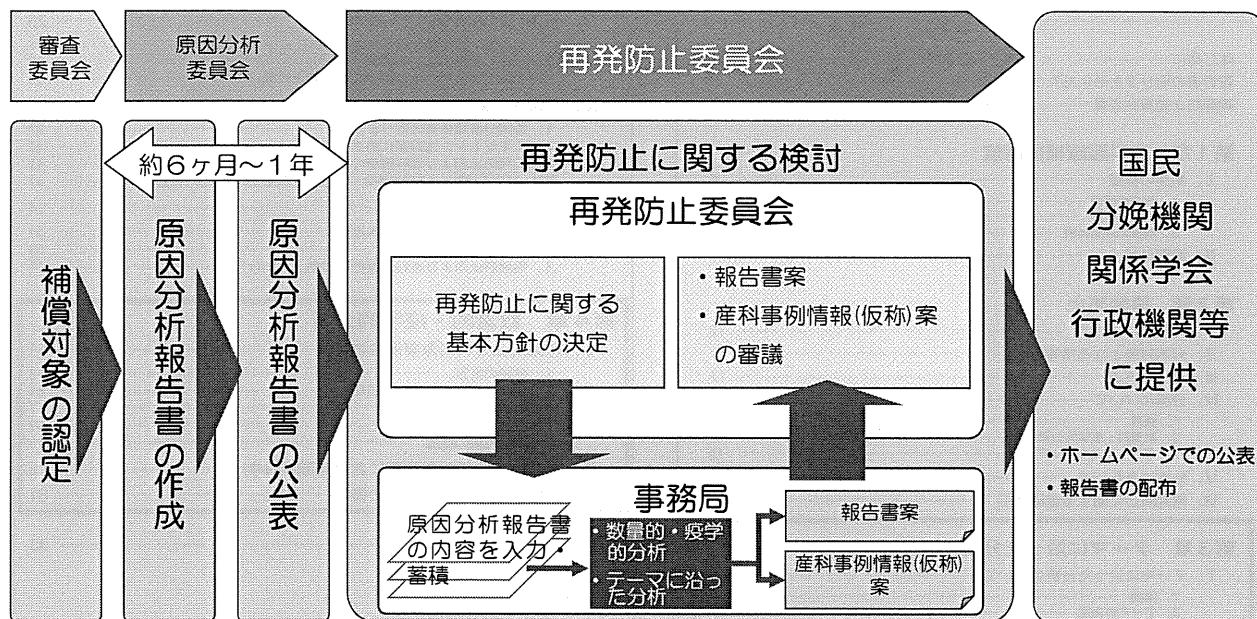


公益財団法人 日本産科医療補償制度
Japan (JQCO) For Quality Improvement in Obstetrics and Gynecology

再発防止に関する情報の流れ



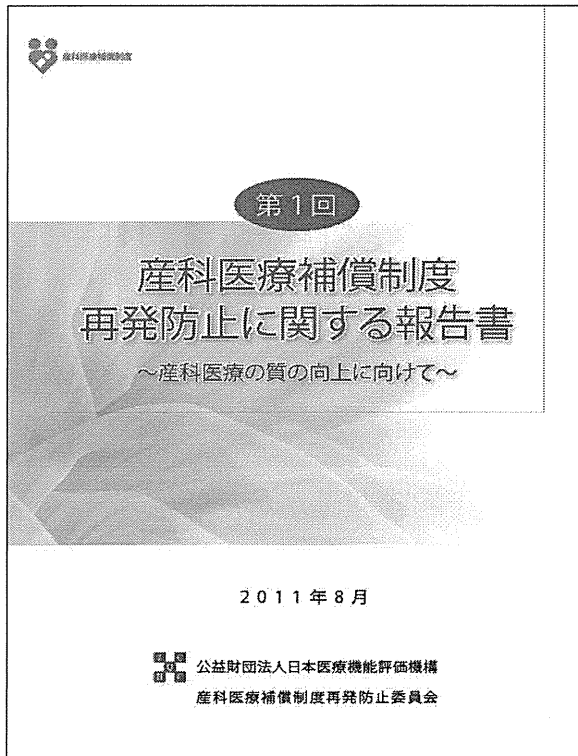
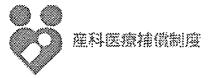
産科医療補償制度





再発防止報告書

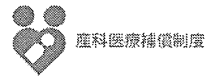
～産科医療の質の向上に向けて～



平成23年8月に
第1回再発防止報
告書を公表



再発防止報告書 目次



目次	
はじめに	1
報告書の取りまとめにあたって	3
再発防止委員会委員	5
第1章 産科医療補償制度	
Ⅰ. 制度の概要	6
1. 制度の経緯	6
2. 制度の概要	6
3. 制度の運営体制	8
Ⅱ. 原因分析	10
第2章 再発防止	
Ⅰ. 再発防止の目的	12
Ⅱ. 分析対象となる情報	12
Ⅲ. 分析の方法	12
Ⅳ. 分析について	13
1. 構成	13
2. 数量的・疫学的分析	13
3. テーマに沿った分析	13
Ⅴ. 分析にあたって	14
Ⅵ. 再発防止に関する審議状況	15
第3章 テーマに沿った分析	
Ⅰ. テーマに沿った分析について	16
1. 構成	16
2. テーマの選定	17
Ⅱ. 分娩中の胎児心拍数聴取について	18
1. 原因分析報告書の取りまとめ	18
2. 胎児心拍数聴取に関する現況	22
3. 再発防止および産科医療の質の向上に向けて	24
Ⅲ. 新生児蘇生について	26
1. 原因分析報告書の取りまとめ	26
2. 新生児蘇生に関する現況	30
3. 再発防止および産科医療の質の向上に向けて	33
Ⅳ. 子宮収縮薬について	37
1. 原因分析報告書の取りまとめ	37
2. オキシトシン注射薬に関する現況	42
3. 再発防止および産科医療の質の向上に向けて	45
資料 子宮収縮薬による陣痛誘発・陣痛促進に際しての留意点 改訂2011年版	47
Ⅴ. 臍帯脱出について	54
1. 原因分析報告書の取りまとめ	54
2. 臍帯脱出に関する現況	59
3. 再発防止および産科医療の質の向上に向けて	60
第4章 数量的・疫学的分析	
Ⅰ. 再発防止分析対象事例の内容	63
1. 分娩の状況	63
2. 妊産婦等に関する基本情報	65
3. 妊娠経過	67
4. 分娩経過	69
5. 新生児期の経過	75
Ⅱ. 再発防止分析対象事例における診療体制	78
Ⅲ. 再発防止分析対象事例の概況	81
おわりに	83
付録	
Ⅰ. 制度加入状況	86
Ⅱ. 参考となるデータ	87
Ⅲ. 再発防止委員会からの提言	100